

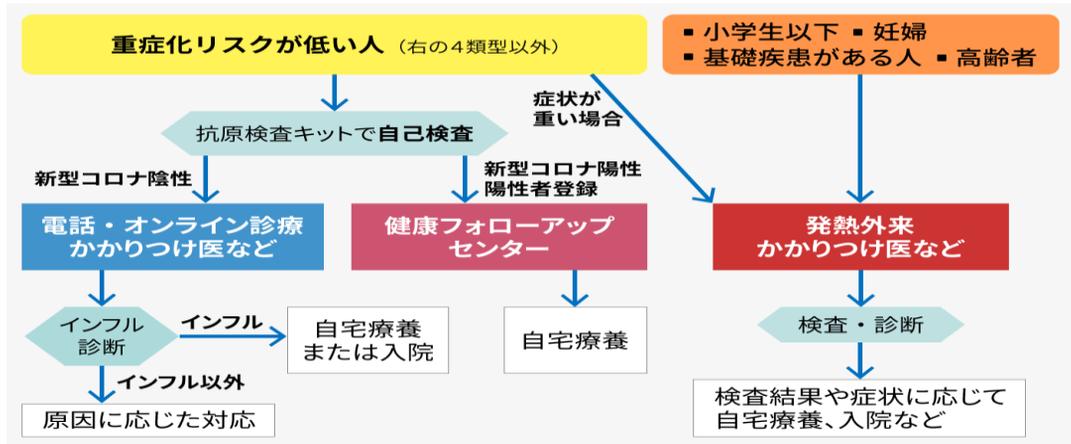
心・体・暮らしに寄り添う クリニックちくさヒルズ通信 NO.21

今冬、発熱患者は 医療機関を受診できなくなるの？

2022年11号

日本政府は、新型コロナ・インフル同時流行を想定しての今冬の発熱患者への対応方針を取りまとめていますので、今号では時節的にもその紹介をさせていただき、万ーのためのご参考にしてください。

新型コロナやインフルエンザの流行時に、発熱外来などの受診は重症化リスクの高い人を優先させ、医療ひっ迫を防ぎたい考えです。重症化リスクが低い人が発熱した場合は、医療機関を受診する前に新型コロナの自己検査を求めています。同時流行が起きた場合、今冬の発熱患者は最大で1日で75万人に上ることを想定し、検査キットや治療薬の確保を進めています。



また、上図の通り、こうした事態が予想される場合、各都道府県の判断で、医療機関のひっ迫を防ぐため、発熱外来やかかりつけ医などの受診は、高齢者、小学生以下、妊婦、基礎疾患のある人の4類型に重点化しています。

これ以外の重症化リスクの低い人が発熱した場合は、まず新型コロナの抗原検査キットで自己検査を行い、陽性なら健康フォローアップセンターに登録し、自宅療養に入ります。陰性だった場合は、インフルエンザが疑われることから、かかりつけ医などを受診し、診断を受けることになります。



当クリニック
林衆治院長

今秋もインフルエンザに関する報道が増えてきて2022年～2023年シーズンのインフルエンザ流行も油断が出来ないと感じます。気になるのが新型コロナウイルスとの関連です。最近国内のコロナの新規陽性者の数も再び増加傾向がみられ、心配なところです。インフルエンザかも？と思っても、いきなり医療機関に行くのではなく、必ず前もって電話やオンライン受付けなどで状態の説明、対処の相談をした上で診療を受けましょう。遠慮なくご相談ください。当クリニックもオンライン受診可能です。

クリニックちくさヒルズが提供するエイジングケアの一つに「グルタチオン療法」があります



グルタチオンには、人間の身体をさびつきから守ってくれる抗酸化作用や解毒作用、免疫力向上効果があるといわれ、アンチエイジングや肝障害、パーキンソン病に対しても効果があるとされています。

また、グルタチオンは抗がん剤の副作用で見られる末梢神経障害に対しても有効です。さらに多発性硬化症や線維性筋痛症といった、特效薬のない難病の治療に対しても用いられており、多発性硬化症では神経症状の緩和、線維性筋痛症では疼痛緩和などの効果が確認されています。

当院では、高濃度のグルタチオンを点滴により注入するグルタチオン療法を行っており、約30分かけて大量のグルタチオンを点滴します。

期待される効果

抗がん剤に対する神経障害

アンチエイジング(抗酸化)

放射線療法による白血球減少症、放射線宿酔、放射線による口腔粘膜の炎症

慢性肝疾患における肝機能の改善

パーキンソン病

急性湿疹、慢性湿疹、皮膚炎、蕁麻疹、リール黒皮症斑

閉塞性動脈硬化症

角膜損傷の治癒促進



副作用について

まれに頭痛や吐き気が出るがありますが、点滴終了後にはおさまります。

グルタチオン治療の費用について

200mg 3,000円(税込)

※上記費用は目安になります。投与量によって費用が異なります。

この他に幹細胞コスメとして、

脂肪幹細胞を培養した培養液やヒアルロン酸などの美容成分をたっぷり配合したコスメを用いて、患者様の美と健康をサポートしています。

幹細胞は、分裂して自分と同じ細胞を作る能力と、別の種類の細胞に分化する能力をもった細胞です。脂肪幹細胞は、発がんのリスクが低く、また、採取が簡易なので患者様の体への負担も少なく済むのが特長です。ご相談ください。

健康の知恵袋



最近では、平均の体温が36度以下という 低体温の人が多くなっているようです。

あなたはどうですか？

体温を上げることで血液の流れをよくすると免疫機能を持った白血球が体中をめぐることで免疫力が上がるそうです。

体温を上げてウイルスに負けない体を作つてね！

広報紙
発行

「クリニックちくさヒルズ通信」

医療法人財団榊蘭会 クリニックちくさヒルズ

〒464-0858 名古屋市千種区千種2-24-2

千種タワーヒルズ1F

ご意見はこちらまで info@clinic-chikusahills.com

編集・発行 医療法人財団榊蘭会 クリニックちくさヒルズ

編集委員会(原稿責任者 川島和信)

発行日

毎月10日